

## 編集後記

そろそろ桜便りが聞かれる頃になって来た。保健管理センターで出来る研究を模索し、身近な問題の調査を始めてから3年が過ぎ去ろうとしている。本報に収録した学会報告要旨、学生実習報告等は当センターの基礎資料にするべく行なった調査であり、まだ研究の域には程遠いものである。今後、この調査を土台にして研究が発展して行くことを望みたい。当センターの規模は極めて小さく、学生の健康問題に関する調査研究機関としての認識は薄い。しかし、一連の調査を行なってみて、当センターが健康問題に関心のある教官・学生の研究、教育の場に成り得る素地を供えていることを痛感した。今後、より貴重な、多くの資料を蓄積し、各部局の教官・学生に利用され、ひいては学生が心身共に、より豊かな学園生活を営むための教育研究機関に発展することを祈らずにはいられない。

A. G.